

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 3 - 53)

件名	制御盤の基板故障による分離・分配設備の工程停止	
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 分離建屋: 分離・分配設備の制御盤</p> <p>(2) 発生の状況 通常運転時及びインターキャンペーン時</p> <p>(3) 概要 制御盤内の制御基板に故障が発生し、弁の制御が安全方向(全閉側)に動作するため、弁の異常を検知して、分離・分配設備が停止</p> <p style="text-align: center;">* 他の建屋も含め同種の機器においても、同様な事象の発生が予想される。</p>	
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 分離建屋換気設備が稼動している建屋内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 弁の異常を検知して、分離・分配設備が停止するので、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 基板故障の復旧にあたっては、定められた放射線管理要領に従い作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 上流・下流の運転に影響が生じる。 当該工程が停止するため、上流や下流の工程に影響が生じる。</p>	
対応の概要	<p>(1) 停止した制御盤のプロセス値を確認する。</p> <p>(2) 定められた作業手順書に従って、該当する工程の計器及び機器について隔離を実施する。</p> <p>(3) 制御盤を停止し、当該基板を予備品と交換して復旧する。</p> <p>(4) 隔離した計器及び機器について隔離解除を行い、点検前のプロセス値と変化等ないか確認する。</p> <p>(5) 復旧箇所に異常のないことを確認した後、手順に従い運転を再開する。</p>	
公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)	
対応区分	<p>(a) 運転継続しながら復旧</p> <p>(b) 運転系統を切り替えて復旧</p> <p>(c) 当該機器を停止して復旧</p> <p>(d) 当該設備を停止して復旧</p> <p>(e) 影響範囲の設備を停止</p>	<p>国際評価尺度 (INES) のレベル</p> <p style="text-align: center;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</p> <p>(レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響</p> <p>放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>日本原燃による評価: レベル0以下</p> <p>運転時監視範囲からの逸脱等 多重防護の劣化</p>

